

2018年3月18日

愛媛県がん対策推進委員会
会長 殿

NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会理事長 松本陽子
認定 NPO 法人ラ・ファミリ工理事長 檜垣高史

ヘルプマークの周知について

「ヘルプマーク」は、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人が、周囲にそのことを伝えるためのツールで、2012年に都営地下鉄で採用され全国へ広がりました。愛媛県でも2017年から導入されています。

がん患者や経験者は、治療による副作用や後遺症などにより外見からはわかりにくい「しびれ」「倦怠感」「嘔気」などの症状を抱えて生活しています。通院治療が主となった現在では、公共交通機関を使って通院することも多く、そうした時にヘルプマークが役立つことが期待され、周知・普及の進んでいる都市部では電車内で席を譲ってもらえたなどの声が多く聞かれます。

しかし、残念ながら県内では周知が十分とはいえず、がん患者・経験者がその恩恵に与ることができていないのが現状です。

県内在住の患者・経験者はもとより、県外から訪れる当事者のためにも、広く周知と普及を図るために以下の点を要望いたします。

1. 一般の方への周知のため、公共施設や公共交通機関などでポスターを掲示するなどできるよう関係部署と連携して取り組んでください。
2. 患者・経験者への普及のため、医療機関などでポスターを掲示するなどできるよう愛媛県がん診療連携協議会などと連携して取り組んでください。

以上